

奥羽大学報



<オープンキャンパス>



131

— 目 次 —

平成24年度 入学試験概要	2
平成24年度 編入学試験概要／奥羽大学進学相談会	4
放射線に関する講演会	5
オープンキャンパスの開催／科学実験講座／薬剤師体験講座	6
夢ナビライブ／まちなかライブ／第19回奥羽祭のお知らせ	7
中高生の大学訪問／薬学部キャリアガイダンス／ 薬学部早期体験学習／歯学部父兄会地域会	8
献体者合同慰霊式／第51回奥羽大学歯学会の開催／大学院研究経過発表会／ 薬学部特別実習発表／薬学部国際学会参加報告	9
交通安全講習会／附属病院	10
新装の図書館が誕生	11
平成22年度決算報告	12
同窓会だより／同窓生のひろば	15
人 事／第20回奥羽大学公開講座	16

平成24年度 入学試験概要

歯学部

募集人員96名

	入試区分	募集人員	日程			試験会場
			試験日	出願期間	合格者発表	
推薦入試	公募制	36名	H23.11.25(金)	H23.11.7(月)~H23.11.22(火)	H23.11.26(土)	本学 キャンパス
一般入試	一期	60名	H24.2.8(水)	H24.1.11(水)~H24.2.6(月)	H24.2.9(木)	
	二期		H24.3.14(水)	H24.2.20(月)~H24.3.12(月)	H24.3.15(木)	

推薦入試

□ 出願資格

(1) 本学歯学部を専願し、入試合格の通知を受けたとき、**本学入学を確約できる者**

(2) 次の①、②のいずれかに該当する者

① **平成24年3月に高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者**で、学業成績が良好であり、出身学校長の推薦を受けた者② **平成22年3月及び平成23年3月に高等学校を卒業した者又は中等教育学校を卒業した者**で、学業成績が良好であり、出身学校長の推薦を受けた者

□ 試験

○ 小論文

○ 面接

一般入試

□ 出願資格

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、並びに平成24年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者、並びに平成24年3月修了見込みの者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、及び平成24年3月修了見込みの者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び平成24年3月修了見込みの者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者(大学入学資格検定に合格した者を含む)

□ 試験

○ 選択2科目

・英語(I・II)と数学(I・II・A)から1科目選択

・物理(I)と化学(I)と生物(I)から1科目選択

○ 小論文

○ 面接

□ 検定料 40,000円(銀行振込・現金持参) □ 学費 合計 4,000,000円 内訳・入学金 500,000円・授業料 3,500,000円

☆負担は軽く、より学びやすく! 新学費制度導入により歯学教育充実費 5,500,000円を廃止しました。

☆第104回歯科医師国家試験 全国私立歯科大学・歯学部17大学中7位(現役合格率79.2%)

薬学部

入学定員140名

	入試区分	募集人員	日程			試験会場
			試験日	出願期間	合格者発表	
推薦入試	一期	50名	H23.11.12(土)	H23.11.1(火)~H23.11.10(木)	H23.11.13(日)	本学
一般入試	一期	90名	H24.1.27(金)	H24.1.10(火)~H24.1.24(火)	H24.1.29(日)	本学・ 仙台・大宮
	二期		H24.1.31(火)	H24.1.16(月)~H24.1.27(金)	H24.2.2(木)	本学・ 仙台・盛岡
	三期		H24.3.17(土)	H24.2.27(月)~H24.3.15(木)	H24.3.18(日)	本学

推薦入試

□ 出願資格

- (1) 本学薬学部を専願し、入試合格の通知を受けたとき、**本学入学を確約できる者**
- (2) 次の①、②のいずれかに該当する者
 - ① **平成24年3月に高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者**で、数学、理科、英語の各評定値がC段階以上であり、出身学校長の推薦を受けた者
 - ② **平成22年3月及び平成23年3月に高等学校又は中等教育学校を卒業した者**で、数学、理科、英語の各評定値がC段階以上であり、出身学校長の推薦を受けた者

□ 試験

- 面接

一般入試

□ 出願資格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、並びに平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者、並びに平成24年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、及び平成24年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び平成24年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者(大学入学資格検定に合格した者を含む)

□ 試験

- 英語 (I・II)
- 数学 (I・II)
- 理科 物理 I と化学 I と生物 I から 1 科目選択

□ 検定料 30,000円(銀行振込・現金持参) □ 学費 合計 1,700,000円 内訳・入学金 200,000円・授業料 1,500,000円

第96回薬剤師国家試験の合格率は70.18%で全国総合1位でした。

☆全国私立薬科大学の中で最も安い学費です。

■入試に関するお問い合わせは

奥羽大学 教務課入試係

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 TEL 024-932-8931 FAX 024-933-7372

http://www.ohu-u.ac.jp E-mail info@ohu-u.ac.jp

大学院歯学研究科

区分	試験科目	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
一期	・英語 ・面接	18名	H23. 7.11(月)～H23. 8.18(木)	H23. 8.20(土)	H23. 8.24(水)
二期			H23.11. 1(火)～H.23.12. 8(木)	H23.12.10(土)	H23.12.14(水)
三期			H24. 1.10(火)～H.24. 2.16(木)	H24. 2.18(土)	H24. 2.22(水)

平成24年度 編入学試験概要

	編入年次	募集人員	日程			試験会場
			出願期間	試験日	合格者発表	
歯学部	2年次	若干名	H23.10.3(月)～H24.3.22(木)	随時	試験実施日から3日以内	本学
薬学部	2年次	若干名	H23.10.3(月)～H24.3.22(木)	随時	試験実施日から3日以内	

出願資格

- (1) 大学を卒業または平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業または平成24年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業または平成24年3月卒業見込みの者
- (4) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (5) 歯学部または薬学部、あるいは医学部に1年以上在学し、第1学年の所定の単位を修得した者

奥羽大学進学相談会

奥羽大学(歯学部・薬学部)の特色について、あるいは入試について、またその他どのようなことでも、相談に応じます。

少数精鋭型医療専門大学に興味のある受験生やご家族の方、この機会を是非ご利用ください。

奥羽大学進学相談会

歯学部 薬学部

出 前 授 業

奥羽大学の授業イメージをつかんでいただくために、わかりやすく説明する出前授業を開講いたします。

◎「歯はなぜ二回しか生えてこないの？」 横瀬敏志 歯学部教授

◎「感染症から身を守るには」 堀江 均 薬学部教授

参加無料
予約不要

9月24日(土)
14:00～16:30

大宮ソニックシティ

●大宮駅西口から歩行者デッキにて徒歩3分

放射線に関する講演会

7月21日(木)、記念講堂にて「原発事故による環境汚染と生体影響」と題し、東京理科大学教授の小島周二先生を講師として講演会を開催した。奥羽大学歯学部・薬学部、東北歯科専門学校の全学生、全教職員が参加し、平日にもかかわらず、一般の来場者も多数来場し、放射線への関心の高さがうかがえた。

講演内容

今まさに“放射線を正しく理解し、正しく怖がる”というフレーズが日本国民に求められている。というのは、去る3月11日起きた東北地方太平洋沖地震により、福島原子力発電所も大きな被害を受け、原子炉の冷却装置が停止、その後復旧に向けての作業が行われつつあるものの、今日なお我が国のみならず世界各国にも恐怖心を与えている現状があるからである。原発事故発生に伴い、核反応により発生した放射性ヨード(I-131)やセシウム(Cs-137)が関東一円に飛散、その後の降雨により地上に落下、路地野菜や水道水等に混入、日常生活がパニックに陥る事態にまで至った。一般大衆の多くの人達は、“放射線は得体の知れない怖いもの”であり、これにあたれば即死する、また死に至らない場合でも数年後にはがんを患い、死んでしまう」と考えるようである。このため、些細な風評に右往左往する人達が後を絶たず、事故後4ヶ月を経過した今日でも、Cs-137の野菜類や牛肉の汚染に怯えている。放射科学を担当してきた私自身も、原発事故がよもや我が国で起こるということは想像もしなかった。一方で、今回の事故により、我が国の放射線(能)に関する基礎教育の重要性を改めて思い知らされた。これまでのTVや多くのマスコミの報道内容の多くは、“現在の放射線量は健康に何ら影響がありません!”のみであり、一般の方々が安心できないのは当然である。

そこで今回の講演会では、

- 1) 人に対する放射線被ばく線量限度の決定の経緯
 - 2) 線量限度(<50mSv)の妥当性の動物実験からの検証
 - 3) 放射性核種による長期間におよぶ内部被ばく影響の統計調査報告
- を実際のデータ(数値)から解説した。

講演内容の結論は以下の通りである:

1) 細胞やマウスを用いた実験データより:

- ① ヒト細胞が放射線を感知できる線量は1回照射(急性被ばく)の場合で、数10mGy以上である。
- ② 同一線量でも、短期間の被ばく(急性被ばく)と長期間の被ばく(慢性被ばく)では現れる障害の程度が異なる:急性被ばく>慢性被ばく
- ③ 慢性被ばくでは、約1,000mSv/h以上で、且つ総線量が数Gyを超えると身体的及び遺伝的影響が現れる。

2) 長期間でのヒト被ばく統計データより:

- ① ヒトでは200mSv以上の急性被ばくで、発がんリスクが有意に高くなる。
- ② 妊婦に対しては、妊娠8~15週で200mSv以上の急性被ばくで、胎児への影響が現れる可能性がある。妊娠16~25週では、500mSv以上で発育不全等の障害が発生する可能性がある。
- ③ 1歳未満の乳幼児が甲状腺に、事故後の急性被ばく(250mSv/短時間)で総線量で数Sv以上被ばくすると甲状腺がんを発症した可能性が高い。
- ④ 喫煙や肥満等の身の回りにある因子は、100~2000mSv以上の放射線被ばく線量に相当するがん死亡リスクを与える。



講演される小島教授

オープンキャンパスの開催

7月23日(土)、8月6日(日)および8月28日(日)に、オープンキャンパスを開催した。今年度は、それぞれ順に「歯学生・薬学生を体験しよう」「奥羽大学ってこんな感じ」「職業としての歯科医師・薬剤師」のように各回にテーマを設け、特徴化を図った。また学生スタッフを充実させ、受付から個人面談まで学生が幅広く活躍した。

なお開催に先立ち、7月に郡山駅前(6日)、会津若松駅前(11日)、福島駅前(12日)および白河駅前(19日)で職員が開催案内リーフレットを配布した。

こうして、皆の協力を得て準備したオープンキャンパスは、いずれの開催も多くの方にご参加いただいた。とくに7月23日は200名を超える高校生たちで賑わった。



奥羽大生が奥羽大学の紹介を行う



学生生活について奥羽大生が答える

小・中学生のための実験・体験講座

科学実験講座

今年度は対象を小学生(4年生以上)および中学生として8月10日(水)に開催した。「身のまわりの放射線を計ってみよう」(志村講師、長嶋助手)、「水はどこから来てどこへ行くのか～水の実験～」(熊本助手)、「いろいろな忍者(化学)物質を体験する」(野沢教授、中橋助手)と3コースを設けたところ、定員60名に対し51名の参加申し込みがあった。参加した受講生たちは、薬学部5年生のサポートのもとで真剣な眼差しで実験に取り組んでいた。講座後に質問をする児童・生徒の姿もあり、科学を楽しむ一日となった。



薬剤師体験講座

昨年度に続き小学生(4年生以上)および中学生を対象とした「薬剤師体験講座」を8月10日(水)に開催した。予約受付からすぐに定員となった40名の受講生に加え、保護者とともに幼い兄弟も見学に訪れにぎやかな講座となった。模擬薬局で白衣と名札を着用し、薬剤師に扮した参加者たちは、薬学部5年生約20名による指導のもと、粒状のチョコや、粉ジュースなどを「くすり」に見立てた調剤業務や、薬学部5年生および実務担当教員を患者役とした服薬指導を、楽しみながら体験した。



夢ナビライブ

7月16日(土)に東京ビッグサイトにてフロンページ主催の進学ガイダンス「夢ナビライブ」に参加した。

＜夢ナビライブ＞では、教員による講義と大学ごとの個別ブース、資料コーナーと内容が充実しており、入場者数は2万7千人を超えていた。200名もの大学教授が講演を行う中、本学では、横瀬敏志歯学部教授による「もし、人の歯がサメのように何度も生えたらどうなる?」と題した歯の最先端の再生治療についての講演が行われた。会場では立見が出るほどの高校生が聴講し、本学説明ブースへも希望学部を問わず、大学案内の説明を求め多くの生徒たちが訪れた。



まちなかライブ

教育・研究の情報発信の取り組みの一環として今年度から初めて「まちなかライブ」を県内主要な場所で開催した。

8月9日(火)白河市(ホテルサンルート白河)、8月19日(金)津若松市(ホテルニューパレス)、8月23日(火)福島市(福島ビューホテル)で行った。

講師は歯学部清野和夫教授「噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す」、薬学部柏木良友教授「薬を体内の必要な部位に、必要な量を、必要な時だけ運ぶ」で講演が行われた。質問コーナーでは薬の飲み方や歯科治療についてなどの質問があり和やかな雰囲気ですべて終了した。参加者からは「知れば役立つなるほど講座」なので今後も是非続けて欲しいとの話を頂いた。



第19回奥羽祭のお知らせ

テーマ:LILLIPUT STEP

大学生生活の思い出の1ページを皆様方と一緒に作りあげ、奥羽祭を成功させたいと願っております。学生、教職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。お誘い合わせの上、是非ご来学ください。

10月8日 SAT	10月9日 SUN
11:00～16:30 模擬店・室内展示 ロック研究会ライブ	11:00～16:00 模擬店・室内展示 ロック研究会ライブ
11:00～ 大宝探し大会MAP配付	東北歯科専門学校競作展
11:00～13:00 うまい店コンテスト	11:30～12:00 目指せ! ?/? アンケート
13:30～14:20 お笑いライブ(無料) クリス松村	13:00～14:00 絵心コンテスト
14:30～15:00 ○×クイズ	14:00～15:00 スペシャルトークイベント(無料) DAIGO
15:00～16:00 『チーム・バチスタの栄光』著者 海堂尊 講演会 (後援 郡山市、郡山市教育委員会)	15:30～ BINGO大会

中高生の大学訪問

上級学校を訪問することで生徒の職業観・人生観を育てることを目的として、郡山市内の中学校やいわき市内の高校から大学訪問があった。

薬剤師体験では白衣を着た生徒たちが模擬薬局で粒状のチョコレートや粉末ジュースなどを「くすり」と見立て、分包機を使用して1回分の量ごとに分け、模擬患者に「くすり」の効用を説明する体験をした。また歯科医師体験では模型の歯を使い「虫歯の予防」をする体験を行った。将来の歯科医師・薬剤師が育つ事を期待したい。



薬学部キャリアガイダンス

6月15日(水)・22日(水)

企業研究「薬学生の進路多様性」、「就職活動はじめの一步」と題した就職セミナーを、情報会社から講師を招き学内にて実施した。就職の第一歩である企業分析の仕方や、就職活動計画の立て方など基本的な事柄を中心に講演が行われた。

参加者はこれから就職活動を行う5年生が中心であったが、低学年の参加者も見られた。

6月29日(水)・7月6日(水)・13日(水)

仕事研究をテーマに、調剤薬局薬剤師、病院薬局薬剤師、MRからそれぞれ現在活躍中の方を講師として招き、仕事としての魅力、仕事内容、待遇面など、普段ではなかなか聞けない裏話を含めた講演が行われた。

これから実施されるキャリアガイダンスは次のとおりである。全学年対象なので、低学年の学生諸君も参加してください。

内 容	
9月	SPI2模擬試験
10月	一般常識模擬試験 SPI2模擬試験
11月	面接講座 ―受かる学生と落ちる学生何が違うのか― 一般常識模擬試験 および SPI2模擬試験 解る、書ける、受かる エントリーシートの作成から面接まで

※SPI2とはリクルートマネジメントソリューションズ社製の就職採用テストです。

薬学部早期体験学習

今年度前期の1年生早期体験学習は、薬剤師と介護・福祉との関りを理解することを目的として、喜多方市の飯塚病院、有隣病院、天心会(福祉施設)

の各施設見学を6月22日(水)、29日(水)、7月6日(水)の3日間に亘って実施した。学生達からは、今回の見学を通して、薬剤師の医療現場における役割と他の医療関係者との関りや、連携の重要性を知ることができたとの感想文が多く提出された。有意義な体験学習になった。

歯学部父兄会地域会

本年度の地域会は、大阪を皮切りに東京、福岡の3会場で開催した。

全体会では、父兄会代表挨拶の後、歯学部長より、東日本大震災および原発事故発生時からの経過報告とその対応について説明が行われた。続いて学生部長より、平成22年度の教育総括、平成23年度の教育方針、進級および卒業要件、災害時の対応およびPTSD(心的外傷後ストレス障害)への指針、放射能測定値についての説明が詳細に行われた。質疑では、原発事故への対応、学生の安否確認、学生確保、ホームページの充実などの意見や要望があった。昼食懇親会をはさみ、午後からの個別懇談会では学生生活、成績の状況などの相談、情報交換が行われた。

各会場の参加人数は次のとおりである。

開催日	会 場	参加人数
6月12日(日)	大阪グリーンパレス	29名
6月19日(日)	東京ガーデンパレス	64名
6月26日(日)	福岡ガーデンパレス	32名



献体者合同慰霊式

6月3日(金)午後1時から郡山市片平町の霊鷲山常居寺において厳粛にとり行われた。幸い天気にも恵まれ、式にはご遺族、白菊会会員ならびにご来賓の方々約80名のご臨席を賜った。本学からは天野義和学長をはじめ教職員、本年度系統解剖学受講の歯学部第2学年全員が参列した。

学長の式辞、学生代表酒井佑佳子さんの追悼の言葉に続き、学長、大野歯学部長、学生の松葉雅俊君、鎌田聡仁さんによって献花が行われた。

ご献体を賜った方々ならびにご遺族に感謝し、ご冥福を心からお祈りした。

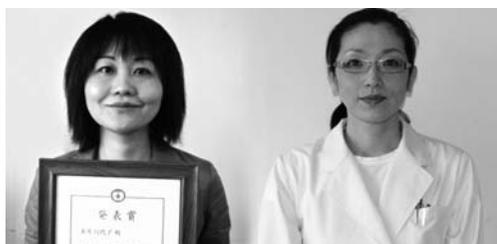


ご献体賜った諸霊とご家族に感謝の意を捧げる天野学長

第51回奥羽大学歯学会の開催

6月11日(土)に病院棟5階臨床講義室で、標記の学会を開催した。当日は17演題の発表が行われ、その中には東日本大震災に関連して本学が行ったさまざまな取り組みの紹介もあった。評議員会・総会では、今年度の優秀発表賞に玉井利代子准教授と加川千鶴世助手の2名が選出された。震災後、初めての歯学会であったが、今まで以上に多くの参加者を集めて活発な討論が展開された。

受賞演題	
玉井利代子	真菌によるヒト歯肉線維芽細胞へのPorphyromonas gingivalisの侵入菌数の増加
加川千鶴世	マウスの舌および軟口蓋における味覚受容器の発生過程



玉井利代子准教授

加川千鶴世助手

大学院研究経過発表会

研究経過発表会は大学院3年生が研究の中間発表を行う場として毎年実施している。今年は8月25日(木)に臨床講義室で開催された。発表会には大学院教員、大学院生に加え歯学部教員も参加し、活発な意見交換が行われた。また、大学院2年生は同時期に研究計画報告書を提出した。この研究経過発表会と研究計画報告書に対しては大学院教員から、後日コメントが寄せられることになっている。

薬学部特別実習発表

8月5日(金)に、薬学部6年生の特別実習(卒業研究)発表を行った。6年制課程となって初めての特別実習であったが、東日本大震災でそれまでの実験が停止してしまうなど、非常に苦労を重ねた中でまとめあげた成果であった。

当日は実験研究コースと調査研究コースに分かれて、パワーポイントや印刷物などを駆使して、同じ配属の5年生にも理解できるように様々な工夫を凝らした発表が行われた。

薬学部国際学会参加報告

開催期日	発表演題	国際会議名	開催地	本学参加発表者
7/17~ 7/22	血管内皮細胞増殖因子受容体1の ヒト歯周炎治療標的としての意義	歯周病ゴードン会議 2011	米国	大島光宏

交通安全講習会

6月8日(水)に、第二講義棟第一講義室で薬学部、続いて歯学部の学生・教職員を対象とした交通安全講習会を開催し、自動車での通勤・通学を許可されている者および許可を受けようとする者全員と運転免許証所持者が受講した。

郡山北警察署交通課の明村英治交通第一係長による講演とビデオにより、交通安全の基本について認識を深めた。交通機動隊勤務が長い明村係長は、速度認識の甘さ、危険予測の重要性や自転車事故を中心に、交通事故防止のための速度制御の大切さを強調された。



附属病院

自衛消防訓練

6月2日(木)に附属病院で自衛消防訓練が行われた。この訓練は附属病院の消防計画に基づき、開催されるものである。常時行われている火災の通報や避難誘導、消火訓練に加え、今回は3月の東日本大震災を受け、地震発生時の対応についての訓練もあった。大規模な災害時にも慌てず行動できるよう、参加者は真剣な表情で訓練を行っていた。



研修歯科医派遣式

6月28日(火)に地域医療短期研修プログラムの研修歯科医16名および地域医療長期研修プログラムの研修歯科医2名の研修施設派遣式が行われた。

18名は呼名起立後に、高橋和裕病院長より訓示を受け、その後派遣される研修歯科医は各々の決意表明を述べ、出席者全員の激励の拍手に見送られた。

研修先施設は、宮城県、山形県、埼玉県、東京都、長野県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、鳥取県内に各1名、福島県、茨城県内に各2名、栃木県内に4名が派遣され、その研修期間は短期研修プログラムが10月28日(金)までの4ヶ月間、長期研修プログラムが来年2月24日(金)までの8ヶ月間である。



BLS/AED講習会

院内BLS/AED講習会を、6月20日(月)、27日(月)、7月4日(月)、6日(水)、11日(月)、13日(水)の6日間(臨床講義室17:40~18:40)開催した。本年は、アメリカ心臓協会が提唱する新ガイドライン2010に沿って行うもので、臨床研修歯科医師51名、歯学部教職員2名、薬学部教員2名、事務職員7名、その他6名の合計68名が参加した。受講者は1日約12名で、本学の18名のAHA-BLSプロバイダー所有者のうち、1日約6名が輪番制でインストラクターを担当し、2名の受講者に1名のインストラクターが付いた。



全国歯科大学・歯学部附属病院長会議

7月1日(金)、郡山ビューホテルアネックスにて、全国歯科大学・歯学部附属病院長会議が開催された。この会議は、歯科大学・歯学部附属病院が当面する諸問題の協議を目的とするもので、今年度は本学歯学部附属病院が当番校となり、全国から29病院58名の参加者があった。

来賓には文部科学省や厚生労働省、日本歯科医師会のほか、福島県歯科医師会などから諸氏をお招きし、当該分野について講演を頂いた。

会議での話題の多くは東日本大震災に関するもので、各病院から災害時の対応が紹介され、非常時の行動が再確認されるものとなった。



私立歯科大学附属病院薬剤部長会議

8月4日(木)、5日(金)の両日に本学が当番校を務め、標記会議が開催された。会議に先立ち病院見学も行われ、震災の爪あとを目の当たりにされた参加者の皆様から暖かい励ましの言葉を頂戴した。

会議においては例年通りの項目に加え、やはり歯科領域でのトピックスであるBRONJ(ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死)の議題について熱心な討議が行われた。



新装の図書館が誕生

3月11日に発生した東日本大地震に伴う書架の破損修復工事は8月3日(木)から同月21日(日)まで行われ、このほど新装された図書館が誕生した。

工事は従来のスチール製単柱複式書架を複柱複式書架に入れ替えたもので、バックナンバー室の電動書架の不具合も修理した。作業内容はバックナンバー室を除くすべての図書約15万冊をダンボール箱約8千個に梱包、一時図書館内の空間エリアに移動、次いで既存書架を解体、廃棄処分をしたのち、新規書架を組み立て、再び移動した図書を搬入して配架するという、図書館の引越しにも相当する大掛かりなものであった。

閉館時間は震災後17時30分であったが、9月1日(木)から平日は19時、土曜日は16時に延長される。



震災により倒壊した書架



工事により復旧した書架

学校法人晴川学舎 平成22年度決算報告

決算の概要

資金収支計算書では、雑収入とその他の収入が予算額より27億7600万円上回ったことから、資金収入合計額は、152億5700万円となった。

資金支出は、計上予算86億100万円のところ施設関係支出と資産運用支出が27億200万円増えたことから、次年度繰越支払資金が7400万円増え39億5300万円となった。

消費収支計算書では、消費収入合計額1億2700万円に対して消費支出合計額43億400万円と大きいため、当年度消費支出超過額は、41億7700万円となった。これに、前年度繰越消費収入超過額86億600万円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、44億2900万円となった。

貸借対照表で、有価証券、退職給与引当特定資産等の引当資産に175億6100万円を充当した。
現金預金等の資金は、76億600万円を確保している。

資金収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,041,075	2,868,992	172,083
手数料収入	35,859	24,272	11,587
寄付金収入	2,000	1,550	450
補助金収入	486,923	282,455	204,468
資産運用収入	228,524	185,421	43,103
事業収入	559,625	539,690	19,935
雑収入	144,356	168,375	△ 24,019
前受金収入	567,350	222,250	345,100
その他の収入	4,241,087	7,761,374	△ 3,520,287
資金収入調整勘定	△ 584,907	△ 555,990	△ 28,917
前年度繰越支払資金	3,759,157	3,759,157	0
収入の部合計	12,481,049	15,257,546	△ 2,776,497

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,654,503	2,453,451	201,052
教育研究経費支出	1,057,938	828,138	229,800
管理経費支出	358,637	295,918	62,719
施設関係支出	0	48,188	△ 48,188
設備関係支出	134,631	99,084	35,547
資産運用支出	4,000,000	7,502,768	△ 3,502,768
その他の支出	258,293	231,292	27,001
予備費	(0)		
資金支出調整勘定	300,000		300,000
資金支出調整勘定	△ 162,375	△ 155,031	△ 7,344
次年度繰越支払資金	3,879,422	3,953,738	△ 74,316
支出の部合計	12,481,049	15,257,546	△ 2,776,497

消費収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

消費収入の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,041,075	2,868,992	172,083
手数料	35,859	24,272	11,587
寄付金	5,500	4,367	1,133
補助金	486,923	282,455	204,468
資産運用収入	228,524	185,421	43,103
事業収入	559,625	539,690	19,935
雑収入	144,356	168,378	△ 24,022
帰属収入合計	4,501,862	4,073,575	428,287
基本金組入額合計	△ 4,038,502	△ 3,946,221	△ 92,281
消費収入の部合計	463,360	127,354	336,006

消費支出の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,594,464	2,434,755	159,709
教育研究経費	1,701,758	1,478,503	223,255
管理経費	444,111	379,345	64,766
資産処分差額	10,474	10,474	0
徴収不能額	1,518	1,518	0
予備費	(11,992)	—	—
予備費	38,008	—	38,008
消費支出の部合計	4,790,333	4,304,595	485,738
当年度消費支出超過額	△ 4,326,973	△ 4,177,241	—
前年度繰越消費収入超過額	8,606,462	8,606,462	—
翌年度繰越消費収入超過額	4,279,489	4,429,221	—

貸借対照表

平成23年3月31日現在

資産の部

(単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(30,687,821)	(34,847,822)	(△ 4,160,001)
有形固定資産	(13,126,774)	(13,721,135)	(△ 594,361)
土地	1,614,060	1,614,060	0
建物	7,263,639	7,594,554	△ 330,915
教育研究用備品	1,658,790	1,936,456	△ 277,666
図書	2,143,880	2,093,165	50,715
その他	446,405	482,900	△ 36,495
その他の固定資産	(17,561,047)	(21,126,687)	(△ 3,565,640)
有価証券	500,000	8,000,000	△ 7,500,000
退職給与引当特定預金	1,150,151	1,218,559	△ 68,408
減価償却引当特定資産	7,300,000	7,300,000	0
施設設備引当特定資産	8,000,000	4,000,000	4,000,000
第3号基本金引当資産	500,000	500,000	0
その他	110,896	108,128	2,768
流動資産	(7,606,923)	(3,970,712)	(△ 3,636,211)
現金預金	3,953,738	3,759,157	194,581
未収入金	92,869	137,358	△ 44,489
短期有価証券	3,500,000	0	3,500,000
前払金	45,665	59,470	△ 13,805
その他	14,651	14,727	△ 76
資産の部合計	38,294,744	38,818,534	△ 523,790

負債・基本金・消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(1,221,981)	(1,240,677)	(△ 18,696)
退職給与引当金	1,221,981	1,240,677	△ 18,696
流動負債	(402,428)	(676,501)	(△ 274,073)
未払金	128,626	153,097	△ 24,471
前受金	222,250	461,900	△ 239,650
預り金	51,552	61,504	△ 9,952
負債の部合計	(1,624,409)	(1,917,178)	(△ 292,769)
基本金の部合計	(32,241,115)	(28,294,893)	(△ 3,946,222)
消費収支差額の部合計	(4,429,220)	(8,606,463)	(△ 4,177,243)
負債の部、基本金の部、 及び消費収支差額の部合計	(38,294,744)	(38,818,534)	(△ 523,790)

同窓会だより

同窓の先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、このたびの未曾有の大震災及びそれに伴う原発事故の被害にあわれた皆様におかれましては、ご心中察しますとともに、心よりお見舞い申し上げます。

私も高知では、平成5年に、奥羽大学歯学部同窓会高知県支部として10名で発足しました。現在でも13名の少ない会員数ですので、この場をお借りして紹介させていただきます。

- 3期 山本昌澄、西村将一
- 5期 高橋一康
- 6期 山田孝徳
- 7期 西岡 賢、橋村忠明
- 8期 岩崎(長山)久美子
- 9期 平井昌行
- 10期 斎藤(伊藤)薫子
- 13期 森本郁夫
- 18期 佐々木英明
- 20期 谷 憲人、野田拓聖

以上の13名です。

現在山本会長の下、不定期ではありますが年に一度ほど、総会を兼ねて懇親会を行っています。本年度は、4月25日、西川文雄先生をお招きして、最近の歯科事情や保険についての話を聞きながらたいへん有意義な時間を持つことができました。

本県は地理的に東西に非常に長く、また交通事情も良くないため、同窓会行事を多くすることは難しいのですが、会への出席率や情報の共有などは、少人数ゆえの利点であるフットワークの軽さが生かされ、スムーズな運営ができていないかと思っております。

今後は、機会があれば徳島、香川、愛媛の各県支部の同窓会との交流などもできればと考えています。

小さな会ではありますが、これからも会員の和をもって、親睦、情報を密にし、同窓が高知に帰ってくる際には、しっかりと受け皿となれる同窓会でありたいと思っていますので、どうぞよろしく願います。

(高知県支部 7期 橋村忠明)

同窓生のひろば



森屋 正勝

(歯学部12期生)

私が在籍していた頃は歯学部のみでしたが卒業後20年以上経ち、大学もその間に文学部や薬学部の学生を送り出し

てきました。もしかしたらここ沖縄にも歯学部以外の同窓がいるのかもしれませんが。今のところ連絡のとれる歯学部の同窓で30名前後、たぶん沖縄に住んでいる同窓生を含めると38名ほどはいると思います。

年数回集まりを持ちますが、7~8名の飲み会になります。同窓会としての活動はそれぐらいです。ですが、震災後同窓の支援について集まってほしいと連絡したところ22名の先生方が集まりいろいろ活発な意見がだされました。私が思ってる以上に何かできることはないかと皆考えていました。熱い議論はできましたが結論は「おのおの個人でできることをやる」というなんともしまりのない結論になってしまいました。支部長としてまとめることの難しさを痛感しました。

5月の末に総会出席のため郡山へ行きました。被災地のなかにある大学で通常どおり授業ができるようにと奮闘する教員の先生方や学校職員の活動や震災の際の医療人としての活動を見聞きし、感謝と誇りも感じました。後日大学の早期再開に関してはいろいろあったと聞きましたが、何が正しいのかは判断できません。学生優先で頑張ってください。

郡山に着いた日の夜震災で医院を全壊した同期と会いました。

「今年は沖縄での同期会の予定があったんじゃない?」ときかれまして。なまけもの私は「こんな時だから中止のほうがいいんじゃない」と答えました。本当はまだ何の準備もしていません。「こんな時だからやってくれたら行きたいな」といわれました。

「じゃあやろう」と言っていました。今年中に会えるよう頑張ります。

畑 正貴(薬学部1期生)

3月に発生した東日本大震災で被害にあわれた先生方、ご家族、および関係者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

私は現在郡山の病院で薬剤師として働いており、3月11日の地震のときも勿論業務中でした。院内は大変な混乱状態で、まずは患者様を安全な場所に誘導し、ある程度落ち着いた状態になってからは、業務再開のため一晩中片付けに追われました。

翌日からも次から次へと問題が発生し、その都度に、対応策を考え、行動する。この繰り返しでした。最も大事な医薬品の供給に関しては、卸からの入庫が滞っていたため、投与制限をかけたり、代替薬を考えて乗り切ったりと、薬剤師として、自分で考え、行動しなければいけない場面に多く遭遇しました。それは大変なことでしたが、そのことに薬剤師としての責任を感じるとともに、やりがいを感じました。

避難所にも、薬剤師のボランティアとして参加し、避難民の方々に接する経験もしました。まだまだ大変苦労されていることと思いますが、一日でも早く復興し、地元へ戻れるようになることをお祈りいたします。

薬学部同窓会の今年度の活動の中で計画していた総会も、震災の影響で開催を延期することとなりました。同窓生や先生方との情報交換の場としても楽しみにしていましたが、改めて時期を検討したいと思います。まだまだ手探りの中で、同窓会の活動をしています。会員の皆様に積極的に意見等を出していただくことにより、今後の活動に生かしていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。また、卒業生から就職活動などについて聞きたいという学生の声があるようなので、何らかの形で協力できればと思っています。

病院実習に来ている学生の中には奥羽大学の学生もいて、大学の話を聞いています。実習の期間も11週間になり、学ぶ内容も多く、大変だと思いますが、向上心を持って実習する姿を見て自分自身も刺

激を受けています。現場では、臨床能力を持ち、チーム医療に参加できる薬剤師が求められています。幅広い知識をつけるためコツコツがんばりたいと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願ひします。

人 事

〈退 職〉

石坂 典子 助 教 口腔病態解析制御学 6月30日付
高橋 知子 医療職員 看護部 7月31日付
千葉 有 准 教授 口腔病態解析制御学 8月24日付
安齋 貴美子 事務職員 学事部(歯) 8月31日付

〈採 用〉

大橋 志保 医療職員 看護部 7月1日付
吉田 優里加 医療職員 看護部 7月1日付

〈異 動〉 旧 新

萩原 覚 事務局 長 財務部 長 6月16日付
佐藤 哲雄 総務部 長 事務局 長 兼 総務部 長 6月16日付

第20回奥羽大学公開講座

環境と健康

平成23年9月3日から10月15日まで隔週開催。

日常生活に役立つ知識が満載の公開講座です。

一緒に学んで、健やかに暮らしてゆくためのヒントを探ってみませんか。

9月3日 (土)	「う蝕(虫歯)の成り立ちを知ろう」 歯学部教授 廣瀬 公治	「よくかむと体にいい—科学的根拠が明らかに—」 薬学部長・教授 衛藤 雅昭
9月17日 (土)	「怖い歯周病」 歯学部教授 高橋 慶壮	「その表示、正しく読めていますか?」 —食品表示がよくわかる!— 薬学部講師 波多江 崇
10月1日 (土)	「震災による心的外傷後ストレス障害の概念とその対応について」 歯学部准教授 車田 文雄	「お茶にまつわる風習、諺、言い伝えとその科学的検証」 薬学部教授 竹元 万壽美
10月15日 (土)	「一から学ぶ“がんの生物学”入門」 歯学部教授 加藤 靖正	「“手洗いと消毒”きちんとしてきていますか?」 —感染症から身を守るために— 薬学部准教授 倉本 敬二

奥羽大学報131号(通算No.256)平成23年8月31日発行
発 行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委員長 天 野 義 和

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp